

# 社会福祉法人 福田会 週次報告書



2022年6月21日 / Vol. 006



## 6月13日(月)～6月19日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

支援所移転作業の手伝い

レストランプロジェクト

食材支援の開始

スタッフミーティング



レストランクーポン利用者からレストラン  
オーナーへ、感謝のイラストが贈られた。

## ご支援総額

2022年6月14日までの寄付総額

88,207,317 円

寄付金使用総額

869268.14 zł (2521万円)

6/13(月)～6/19(日)の期間中の寄附金使用額

71908.74 zł(約209万円)



### 活動内容

#### クラクフ中央駅構内カリタス支援所への支援物資提供

月・水・金の週3回、支援物資の買い出しに同行。  
大人用おむつが不足しており、今週は主におむつ、トイレットペーパー、その他消耗品を購入した。



#### 支援所移転作業の手伝い

クラクフ中央駅構内プラットフォーム4番の避難所が移転し、現地スタッフからの要望を受け、福田会からは2段ベッド17台を寄付。

買い出しから組み立てまで作業を手伝った。  
こちらの支援所では、ベッドの準備が完了次第、避難民の受け入れを開始するという。



#### レストランプロジェクト

各レストランへ7月のプロジェクト継続を通知。

1店(Szalona AzziP)のみ、クラクフ中央駅外テントへの配達支援(毎日100食)であるため、6月末のテント運営終了に伴いプロジェクトの終了を通知した。



写真はクーポン利用者で賑わう店内の様子(右上)と、食事を楽しむ親子(右下)





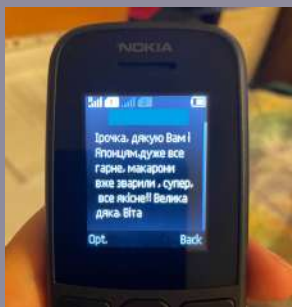
### 活動内容

#### 食材支援の開始

レストランプロジェクト参加店(Jak We Lwowie)では、利用者がプロジェクト開始時の4倍以上になり、現在では毎日同じ方が繰り返し利用している。母国に戻れずポーランドに長期滞在することになる方々が今後自立した生活を送っていきけるよう、一部利用者に食事ではなく食材支援の実施を決定。

利用者一人一人にヒアリングを行い、滞在先で食材の調理が可能な21家族へ、1週間分の食材を提供。  
(小麦粉・米・パスタ・肉・野菜・牛乳等)

食材の提供を受けた方からお礼のメールを受け取った。  
メールには日本の皆さまへの感謝と、頂いた食材はどれも美味しいです、と綴られている。



#### スタッフミーティング

それぞれ活動内容の報告と反省会を行った。  
これまで支援所には福田会ポスターを置いていたが、避難民には誰からの支援なのかいまいち伝わっておらず、ベッドなどの設備には1つ1つステッカーを貼ってはどうか、と提案があった。  
ウクライナ語のステッカーを作成し貼付予定。





### 現地の動向

国境警備隊によると、ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約416万人とされている。(6月19日時点)

街中には依然、ウクライナとの連帯を示すようにウクライナ国旗が掲げられているが、2月の侵攻以来、カフェやレストランに設置されていた募金箱が撤去され始めたりと、人々の支援の勢いは徐々に落ち着き始めている。

しかしながら、クラクフ市では毎週末のようにウクライナ支援のイベントが開催されており、6月18日(土)には、クラクフ中央広場内の美術館にて、チャリティコンサートとオークションが実施された。

コンサートでは、ウクライナのプロのバンドゥーラ奏者によるウクライナ楽曲の演奏がされた。

オークションでは、スネーク島事件を記念し4月にウクライナ郵便局により発行された切手・コインなどが出品され、会場を盛り上げた。

